

浄土真宗本願寺派 高峯山随泉寺

御正忌報恩講法座

講師 住職自修

講題 「御伝鈔のころ」

小焼だ 大漁だ 大ば鯛の 大漁だ 浜は祭りのようだけど  
なかでは 何万の 鯛のとむらいするだろう (金子みすず)

「よく来い来い、新世紀」と21世紀、21世紀とまるで新しい世界が始まるよう  
つられていた今年でしたが、期待と不安の中で過ぎた一年でしたが、皆様にな  
ていかがな年でしたか？「凍えるような寒い朝でも、人が温かいベッドから  
立つことができるのは、その日、愛するものや楽しい事があるからだ」とい  
葉がある。悲観とは見えないものへの想像力である。ただし、見下すことで  
上げることもない。重たい悲しいものへの比重の掛け方である。それは人  
やさしさとしかいいようがない。殺す側の論理と殺される側の論理。理屈で  
なるであろう。ニューヨークでは突然の同時多発テロで、4000人を越す  
が悲劇の死をむかえた。家族や知人の涙を忘れられない。こんな理不尽な暴  
許されないとアメリカは報復を誓い、空爆を開始した。今度はアフガニスタ  
尺山の人が逃げ惑い、無残な死がそこにある。子供達は食料がなくて餓死し  
る。どちらにも理屈も理由もあるのだろう。しかし、人間のすることは、自  
理屈でしかない。いつも正しいのは自分である。全ての本質を見抜くちから、  
こそが仏様のまなざしである。その眼差しは、穏やかで優しい、苦悩を見逃  
い慈悲のまなざしである。この眼を持つ者を心の豊かな者というのではない  
金子みすずは悲しみをとおして仏様のまなざしを伝えてくれる詩人である。

星に願いを

鎌田哲成

獅子座流星群とやらが出現しました。18日の夜2時ごろから、まさに  
るように流れて来ました。ちょうど お月様が新月で、星が本当にきれ  
に見える夜でした。寒さに耐えながら見ていると、2時前後から次々と  
われて、パーと輝いて感動的でした。流れ星に願いをこめると云うこ  
ですが、一分間に幾つでも現われるのですから願いは思うがまま…？こ  
流れ星の大群は、すい星のしっぽから取り残された、小さい宇宙のゴミ  
のようなもので、普段は見えないものなのです。しかし毎年この時期に、  
のゴミの近くを地球が通過するので、地球の引力で落ちてくるそうす  
ほとんどが燃え尽きて、地球の上には落ちて来ません。暗闇の中で光が  
たっていない時は、チリのように目に見えないので、気にもかけられ  
ませんが、いったん脚光を浴びると、光り輝いて人々を楽しませてくれる

このあいだテレビを見ていたら、我が家のお宝発見と云うような番組で  
古い倉の中から、坂本竜馬の手紙が出てきたそうです。その手紙は100  
間はただのほこりをかぶった古い手紙だったわけですが、今は歴史の証  
者として大変な価値を持つてくるのです。光があたると輝きだすのです

お浄土はひかりのくにといわれています。ひかりのくにであると云  
ことは、そこに至れば、どんなものも命を得て光り輝くのです。無意味  
役立たない存在はなに一つ無いのです。愛憎も我執も、病も別離も、貧  
も罪悪も、光に遇うならば、そのものが光り輝くのです。阿弥陀様の本  
に遇えば、本願の光に照らされて、あらゆるものが、いきいきといのち  
得て、光かがやくものに変えられるのです。

光雲無碍如虚空 一切の有碍にさわりなし  
光沢かむらぬものぞなき 難思議を帰命せよ  
慈光はるかに かふらしめ ひかりのいたるところには  
法喜をうとぞ のべたもう 大安慰を帰命せよ

浄土和讃

☆ありがとうございます。

特別永代経 一金 五万円也 米広 徹 様  
特別永代経 一金 五万円也 勝部 潔 様

## 門徒の条件（一年に一度はお寺に参りましょう。）

霊山勝海

門徒の数は、全国で幾百万とか、あるいは一千万とか言われま  
え方にもよると思いますが、それほどにぼう大な人々が真宗  
徒としての意識をもち自覚をもったなら、そのエネルギーは莫  
なのであります。しかし、先の数字の中には、自分は無宗  
徒だと思ったり、所属の宗派名を知らない人も、少なからず含ま  
れるにちがいません。

門徒であることの条件は、いったい何でしょうか。思いつくまま、  
条件となりそうなものをならべてみましょう。

母からの門徒で仏壇があり、仏事には真宗のお坊さんを招く。仏  
お参りして念仏を称える。日曜学校・仏青・仏婦・仏壮などの会  
に入る。教団の維持金を負担している。法座に出席して聴聞する。  
一回、自宅で報恩講をつとめる。寺に門徒として登録されてい  
る。形式的なもの、内容的な条件を無造作に羅列しました。

これらの条件の総合の中に真宗門徒の姿があると思いますが、い  
真宗門徒としての最低の条件を指摘しておきましょう。

ご尊敬する布教家の F 師は「わたしは、常々、門徒の方にはっ  
宣言しています。三年間、一度も寺に参らんかったら、葬式に  
かん。よそでももらいなさい。老いも若きも、働いているも  
例外なしです」と語られました。これを聞いて、門徒の葬式に  
かんなど何と横暴な住職だとお考えでしょうか。もしそうとる  
余りにも皮相です。

元気で学校に、職場にと出かけたものが、交通災害でつめた  
となって無言の帰宅をする例は、ニュースで連日のように告げ  
るところです。仕事の鬼のように働いていた一家の柱が、思い  
はず病気に倒れる事例も少なくはありません。無常の風が吹き  
ている人生を生きているのですから、いつ、どこで、どんな災  
いあって命を失うか保証されないのが私です

門徒をあずかる住職としては、人間として生れながら、仏法  
こともなく、両手を合わせて念仏することもなくして、この世  
終わらせることは、絶対に出来ないのです。だれが何といおう  
に綱をつけて引いてでも、仏法を聴聞させてでなければ、門徒  
せるわけにはゆかないのです。

はからずも、住職のあるべき姿を語ることになりましたが、  
表裏の関係で、門徒の条件を語ってもいます。おけいごとや  
が忙しい子どもにも、仏法聴聞させなければ、親の義務を果た  
ません。家業や職場がどれほど多忙であっても、年に一日や二  
い休暇をとっていいではありませんか。お説教を聞きに寺へ参  
いなら、先祖伝来のどれほど立派な仏壇を安置していても真宗  
資格はありません。

12月には随泉寺の報恩講です。「ひまをかきて」是非ともお  
しましょう。

## ※お詫び

◎『随泉寺本堂等修復事業完成記念誌』の中で間違いや記載漏れ  
りましたので書き加えてください。

115 頁の食事係（庫裡）に仏婦東長者原役員 門前ヨリエさん

112 頁の委員会名簿に荒野地区役員 田中義昭さんを  
書き加えてください。

115 頁の 上杉義明さん→上松義明さんに

115 頁の 原本千津子さん→原本千鶴子さんに

116 頁の 佐古忠治さん→砂古忠治さんに訂正してください

◎門信徒会平成14年事業計画の中で出張法座の順番が違って  
たので訂正致します。

平成14年 2/14 平原下…→望ヶ丘 3/14 平原上…→高

4/14 望ヶ丘…→平原下 5/14 高部…→平